

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2020年3月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2020年3月10日～3月31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 124社
- 回収率 62.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の3月の状況を見ると業況DIは、前月より18.0ポイント悪化の▲47.6となった。

2017年9月以来31ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲59.7、当月と比べ12.1ポイントの悪化が見込まれる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	先行き見通し 2020年 4月～6月
業況	▲20.0	▲25.2	▲16.5	▲26.0	▲29.6	▲47.6	▲59.7
売上	▲14.1	▲26.0	▲22.3	▲20.4	▲28.7	▲50.0	▲67.8
採算	▲15.8	▲26.1	▲19.0	▲20.4	▲28.7	▲43.6	▲56.5
仕入単価	▲39.2	▲40.7	▲35.5	▲34.2	▲25.2	▲12.0	▲22.6
販売単価	13.3	2.6	5.8	4.9	▲4.3	▲12.1	▲12.1
従業員	40.9	29.4	31.4	30.9	28.7	19.3	20.9
資金繰り	▲6.7	▲4.2	▲6.6	▲6.5	▲10.5	▲21.8	▲30.6

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	先行き見通し 2020年 4～6月
建設	▲20.0	▲30.0	▲17.2	▲13.8	▲28.6	▲28.6	▲57.1
製造	▲11.1	▲26.6	▲7.1	▲31.1	▲17.9	▲34.5	▲51.7
卸売	▲11.5	▲17.4	▲12.0	▲18.5	▲25.0	▲42.3	▲53.8
小売	▲35.3	▲26.3	▲21.0	▲36.8	▲31.6	▲71.4	▲66.7
サービス	▲30.0	▲23.5	▲30.0	▲36.8	▲56.3	▲75.0	▲75.0

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相応の受注はあるが人員確保に苦慮、又住宅関連では新型コロナウイルスの影響から設備機器の調達に支障が始めている。（総合工事）</li> <li>・慢性的な人員不足の影響で売上が減少。新型コロナウイルスの影響がどのように出てくるか予測不能。（設備・その他）</li> <li>・営業及び現場がコロナの影響で動き難い。非常事態宣言の一刻も早い解除を願っている。（総合工事）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響から中国で作られているトイレ等のパーツの入荷の見通しが立たず完成引き渡しができない不安が増し、資金繰りの悪化懸念が現実味を帯びてきている。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先月末の非常事態宣言以降、消費者の買い控えで売上が減少。全国的に新型コロナウイルスの感染拡大がある以上、この先の物産展等の中止で売上の減少は大きく長く影響が残ると考えられる。物量の流れが少ないままだと送料の値上げも懸念される。一刻も早いウイルスの終息を願っている。（食料品）</li> <li>・近年の需要減少に加えて新型コロナウイルスの影響により予定した案件が中止に追い込まれている。（印刷・出版）</li> <li>・今年度の設備更新も一応終了。受注状況を勘案しながら来年度の設備投資を考えている。コロナウイルスの直接の影響はないが長引けば何らかの影響が出てくる可能性がある。（金属窯業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、毎年実施している即売会や売出しがキャンセルとなり、いつ収拾するか予測ができないため先行きが見通せない状況。大幅な売上減とともに人員の配置などに苦慮している。仕入先が春節以降工場の再開の見通しが立っていないことから今後商品不足が生じてくると予想される。（繊維）</li> <li>・2月中旬以降、原油価格が下落しており3月に入り販売価格は大幅に下げている。当面は現在の状況で推移すると思われるが先行きは不透明。（その他）</li> <li>・仕入単価が上昇しているが、販売単価が変わらない。コロナの影響で一部仕入資材が入荷してこない。（機械鋼材）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる特に外商（空港・卸先）受注大幅減により業績悪化。（食料品）</li> <li>・市内中心部では新型コロナウイルスの影響で客数が半減している。国の対応策がなされているが、キャッシュレスポイント還元率の延長や還元率を上げるのであれば対象店舗拡大を望んでいる。消費税の減税が実施されれば準備段階で売上減少につながり影響がある。（衣服見回品）</li> <li>・新型肺炎感染拡大を受け、観光需要の減少や各企業の営業自粛、週末の行動規制などで燃料油販売量が大きく低下し、暖冬の影響で除排雪に係る燃料使用料が減少した。（その他）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響でホテルのリネン類が宿泊客の大幅減少で1/5となりホテルの洗濯業務は大赤字。このまま続くと大変なことになる。かろうじて病院寝具関係の洗濯業務でなんとか営業している。（理美容・クリーニング）</li> <li>・コロナウイルスの影響により国内外旅行者すべてが激減。地元の宴会や昼食などのレストラン利用も軒並み悪化。（ホテル・旅館）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で来店客数は3割程度減。その分テイクアウトを宣伝し、なんとか会社を維持しようと懸命に踏ん張っている状況。（飲食）</li> <li>・コロナ流行と外出自粛要請。休校などで全く事業が成り立たない状況。見通しが立たない。（運送）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI3.7 ポイント改善、採算 DI7.2 ポイント悪化、仕入単価 DI 横ばい、販売単価 DI 横ばい、資金 DI 横ばい、従業員 DI 横ばい。総じて業況 DI は横ばいとなった。業種別では、設備・その他 10 ポイント改善、建築業 25 ポイント悪化、総合工事横ばいとなった。今のところ新型コロナウイルスが経営に障害とはなっていない。働き方改革が働かない改革に進んでいるのが心配との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI13.3 ポイント悪化、採算 DI4.4 ポイント改善、仕入単価 DI14.6 ポイント改善、販売単価 DI7.2 ポイント悪化、資金 DI7.1 ポイント悪化、従業員 DI0.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 16.6 ポイント悪化となった。業種別では、金属窯業他 10 ポイント改善、食料品 14 ポイント、印刷・出版 40 ポイント、家具・木材 45 ポイント悪化となった。新型コロナウイルスの影響による販売促進イベント等の中止による印刷物の受注減との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI25.4 ポイント悪化、採算 DI26.0 ポイント悪化、仕入単価 DI8.9 ポイント改善、販売単価 DI2.9 ポイント悪化、資金 DI11.0 ポイント悪化、従業員 DI9.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 17.3 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 67 ポイント、食料品 18 ポイント、その他 3 ポイント悪化となった。コロナウイルスの影響が大きい業種であるため、春、最大の需要期に大きなマイナスとなるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI49.4 ポイント悪化、採算 DI30.8 ポイント悪化、仕入単価 DI24.7 ポイント改善、販売単価 DI19.0 ポイント悪化、資金 DI22.8 ポイント悪化、従業員 DI7.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 39.8 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 17 ポイント、食料品 100 ポイント、その他 17 ポイント、自動車 24 ポイント悪化となった。1 月・2 月に特需があり 3 月に得意先宴会場納入がなく 0 であったが平年並みの数字となったが 4 月以降は見込みなし。今年度の設備への計画は再検討せざるを得ない、借入不安との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI28.8 ポイント悪化、採算 DI17.5 ポイント悪化、仕入単価 DI22.5 ポイント改善、販売単価 DI10.0 ポイント悪化、資金 DI17.5 ポイント悪化、従業員 DI40.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.7 ポイント悪化となった。業種別では、飲食 17 ポイント、整備業 50 ポイント改善、理美容・クリーニング 100 ポイント、ホテル・旅館 50 ポイント、その他 17 ポイント、運送 33 ポイント悪化となった。新型コロナウイルスによる会合の中止などにより、ホテルで使用する看板のキャンセル等が起り、今後も続く見通しとの声も寄せられている。</p>